

新山協ニュース

△ 発行者 鈴木敏雄 △ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

朝鮮半島の山脈

下越山岳会 五十嵐 篤 雄

朝鮮半島の山脈は、中国東北と北朝鮮の国境をなしている鴨緑江の源流、白頭山を中心に鴨緑江の中国側を国境沿いに西南に延びている長白山脈と、平行して北鮮側に冠帽山（クアンモサン）を最高峰とした咸鏡（ハムキョン）山脈が延び、この二つの山脈を繋ぐように狼林（ナンニム）山脈が、途中から妙香（ミョピヤン）山脈を西南に分岐して東南に延び、この三つの山脈が朝鮮半島の2000M級の山を全部占めている。

白頭山（ペクトサン）2744M、冠帽山2541M、南胞胎山（ナムポテサン）2541M、北水白山（ブクスベクサン）2522M、小白山（ソベクサン）2184M、狼林山2014M、これらの山は北緯40度から41度の間に限られ、北緯39度5分あたり

の黄海側、西朝鮮湾と日本海の永興湾で、半島のいちばん括れているところで三つの山脈は丘陵帯に変わってしまうが、地形的には狼林山脈から太白（テベク）山脈に発達し、韓国の日本海側海岸線に脊梁をなし、黄海側の平野部に広州山脈、東嶺山脈、小白山脈と派生している。小白山脈は更に蘆嶺山脈を分岐し東海岸に達するが、海を越えたその先が韓国最高峰、韓拏山（ハラサン）のある済州島になる。韓国の大動脈のような太白山脈には残念ながら2000Mを超える山はなく、かつて朝鮮第一の名山と謳われた金剛山（1638M）は国境の北側。韓国側は雪岳山（ソラクサン）1708M、五台山（オデサン）1563M、太白山1561M、小白山脈には徳裕山（トクユサン）15

08M、そして韓国第2の高山、智異山（チリサン）1915Mがある。

1983年5月、室賀会長、とは周知の通りである。

987年11月、雪岳山、山田智子他11名。又、当協会は晶元山岳会の会員を谷川岳、白馬岳、奥穂高岳に案内したこ

鈴木理事長が訪韓、新潟県山岳協会と韓国晶元山岳会の姉妹山岳会を締結した。

1983年6月、山田智子隊長以下9名が雪岳山（この時は雨のためハイキング）を皮切りに、1986年2月、智異山、山田智子他3名、1

987年11月、雪岳山、山田智子他11名。又、当協会は晶元山岳会の会員を谷川岳、白馬岳、奥穂高岳に案内したこ

北鮮とは残念ながら今のところ国交はないが、やがて国交ができ友交が回復すれば、2000M級の山地、長白、咸鏡、狼林山脈、蘆馬高原と日韓合同登山の夢は果てしない。

新年会案内

日時 1989年1月22日(日)

午前11時より

会場

イタリア軒

新潟市西堀通り7

会費 10000円

申込 上、下越、新潟、各連絡事務所、又は協会事務局へ。

長岡市学校町1の12の23

室賀輝男方

〒025813210428

TEL 025813210428

吉野さん

越後山岳会 山田 智子

吉野さんが京都国体を目前に急逝されたのも、国体に情熱を傾けた気持ちに通じたものがあったのでしょうか。初めてフルエントリーできてホッとした吉野さんはじめ、関係者の心のように、京都の空は澄んでいました。大会期間中「晴れ」というのもめずらしいことでした。

国体で山岳競技が点数制になった一巡目の北信越新潟大会で、吉野さんは成年女子の監督として参加されましたが、それが、その後国体に関わるきっかけになったと思います。あれから6年、吉野さんとは北信越国体会場を一周しました。

最初の頃は北信越国体でも、本大会でも、会場の山へ練習に入ると、態勢の整った長野県チームをとて羨しく感じました。当時の新潟県は

して、いつもテントを避けて協会のワゴン車が寝床でした。これも確認が必要で、ドアを開けっぱなしにしておくのが入るし、たまに草ムラで寝込んでいることもあり、監督の監督は私の役目でした。あれは鳥取大会の大山でした。練習に縦走コースを回っている時、長野県勢とすれ違った折、「奥さんも毎年大変ですね」「ええ」、夜は福井の人にも同じことを言われて大笑

いしたことがありました。男性の中におぼちゃんが一入っているから、間違えられたのでしよう。その時、我成年男子選手に「国体妻」というニックネームをつけられ、以前の「国体のお母さん」から昇格させてもらいました。

思えば春の予選会から、国体が終って慰労会が済む11月の約8ヶ月間、週に一度は顔を合わせていたようです。

倒れる2日前の夜にお会いしたのが最後になりましたが、9月5日もモーニングコールがありました。国体に一生懸命とくりくんでおられた吉野さんに、私は何をお手伝いできたのだろうか、今疑問に感じます。私にできることで、

第9回 北信越国民体育大会山岳競技会 迎



分もすると、ピンポイントでした。また朝7時の電話は、きまって吉野さんのモーニングコールでした。そういう日は夕べ晩酌をしたら電話するのを忘れてと、吉野さんらしい言い訳がありました。去年、はじめてあることで衝突をしまし

た。一生懸命が

— だけだったようです。あの愛車が、国体に対する吉野さんの気持を証明しています。

トランクにも座席にも、国体が
ありました。

吉野さんの若すぎる逝去に
言葉もありませんが、フルエ
ントリーという大きな目的達
成は、私たちの悲しみを柔ら
げ、吉野さんへせめてもの花
むけにはならなかったでしょ
うか。

これまでに出会った選手の
皆さんが、吉野国体委員長の
ことを語り継いで行ってくれ
ると思います。

練習の合い間に、遠くを見
ながらタバコを燻らせていた
吉野さんの姿が、今は懐しく
思い出されます。

合掌

事務所変更

デラシネ山の会

〒950

新潟市藤見町1の2の2の

7

長谷川貢様方

☎0251

27415623

新潟シニアアルペンクラブ

〒950

新潟市竹尾2の1の10

牧野信夫様方

☎0251

27413340

おくやみ

荒川ワンダーフォーゲ
ルの田辺康二氏(26歳)
が、去る11月6日、飯豊
連峰門内岳で、寒さによ
る疲労で動けないところ
発見され、ヘリコプター
で収容されたが死亡され
ました。
ここに謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。

第8回自然保護

指導員研修会報告

自然保護副委員長 堀井 浩

南蒲原郡下田村八木向 11月6日 8時 出発

自然教育センターにて実施 光明山登山、カモシカ観察

11月5日 17時 の2組に別れて行動をとる。

出席 36名 前日からの風雨も晴れ上り、

17時30分 開会 笠堀の素晴らしい紅葉を楽し

18時 講議 む事ができました。12時30

講師 県立新潟向陽高校 分、笠堀ダムサイトに集合、

講師 村山 敏先生 解散。尚、カモシカ観察班

議題 山岳動物の生態(笠 ではカモシカを発見、全員

堀ダム周辺のカモシカ外) が目的を達せられ、喜んで

19時30分より夕食、他 おりました。

カモシカの話

新潟向陽高校 村山 敏

◎ニホンカモシカってなんだ
意味のラテン語です。

肥ったヤギを、もつと毛む
くじやらにして、色は白っぽ
くよりも早く、氷河期に大陸

いものから茶色いもの、黒褐
から渡って来たといわれてい

色のものとさまざまにして想
ます。その後、日本列島が海

像してみて下さい。学名の
に囲まれ大陸と切り離されて

Capricornis Crispus はモジ
しまった為に孤立化し、大陸

ヤモジャと毛の長いヤギとい
に棲む彼等の仲間達よりも身

体の構造や生活様式の進化が
遅れていると考えられていま
す。日本だけにしか生息しな
い固有種で、「生きた化石」
と言われるのもその為です。

◎カモシカの社会構造
10月から12月頃に交尾行動

がみられ、翌年の4月から6

月頃に1頭の子供が生まれま

す。この頃のオス親は、まる

で、はれものに触る”かのよ

うにそおつと覗きにきたり、

母子のそばでウロウロしてい

たりします。そうかと思えば、

全く知らんふりで、ピッと

何処かへ行ったきり帰ってこ

ないダメオヤジみたいのがい

たり、カセシカ社会も結構複

雑なようです。しかし、基本

的にはこの3頭から成る家族

群がカモシカ社会の基本単位

なのです。普通は、母子は常

に一緒に行動し、雄親はこの

母子と共に過ごしたり、離れ

てホームレンジの何処かで単

独行動をとって生活していま

す。子供は、翌年の春に次の

子供が生まれる前に母親によ

って追い出されます。

時には、前年生まれの子供が、まだ親離れをしないで行動を共にしている事があり、4頭が連れ立って歩いている事もあります。これ以上の数のカモシカが集まった群れというのは、何かの条件でたまたま偶然に集まったと考えてよいでしょう。

このほかに、ツガイを形成できなくて単独で生活するものや、決まった行動圏を持たず、渡り歩くナガレモノのカモシカがいます。

◎年令と性別

野生のカモシカの性別は、外見からは分かりません。角の太さや体つきは、さまざまで雌雄による差は認められないのです。およその目安としては、

へメスは

◆常に幼獣を連れてくる(オスは時々一緒にいるが母子から離れて行動する)

◆腰を落として排尿する(オスは落とさないです)

◆後ろから見て

丸丸がない(オスははつきりと見える)

へ年令

幼獣(その年の子供)、1才子、成獣(2才以上)、老獣(それ以上の区別しきれない)

昭和63年度地区別審判員研修会報告

年令・ツノの長さでおよその目安(フィールドでは、成獣の年令は識別困難)



0歳秋



0歳翌春



1歳秋



2歳以上(ここから先は困難)

ツノトギによる変形等が見られる。

長岡ハイキングクラブ

森

庄

一

11月12日(土)から13日

(日)にかけて、石川県石川郡尾口村尾添 一里野温泉「雪国荘」にて、地区別審判員運営・認定研修会が実施された。

認定研修8名、運営研修37名のうち、昭和66年に国体開催される地元石川県関係者が36名受講と多数を占めた。

◎運営研修について

運営研修は二巡目以降の競技規則改正内容を基に、京都国体の実施要領に沿って進められたが、運営側と選手側での意識の変化が吸みとれる研修であった。

◎縦走

天気図作成→一般には観望気であり競技にはなじまぬ。少年(高体連)の希望強い。専任審判の主観が入る。特区间↓運営上一ヶ所になりつつある。特区间に観客席? を設けられないか。特区间の距離、高度差、所要時間の標準も決められていないこと等。

◎踏査

定セットは選手集合前に行うこと。競技中、競技後も選手、監督以外は入山できないこと。コース誤りの表示がなかったこと。時間の設定が厳しかったこと。重量規定のみで内容点検がなかったこと等。

◎登攀

年々グレードアップしていること。3分の2が完登できなかったこと。中断した場合の登攀距離による得点がなかったこと(次回から得点を考へる)。規定用具に疑問があったこと(ヘルメットの形状、手袋の使途「元は確保用、競

技時は登攀時すべり止めとして使用)等。

◎全体として

選手側では「勝つためには手段を選ばず」となりつつあること。運営面では一般の競技のように観客にアピールできること。競技中も監督、選手の打ち合せができる等、山という密室での競技から脱出する方法を考へること等。

今後2部制を導入した時の選手枠等は、他競技の様子待ちであること。人口岩場は5年後を目途に採用すること等、報告を受けて終了した。

昭和66年

石川県体

山岳競技

会場内定

本田克也石川県山岳協会委員長より会場予定地の発表があった。この中、来年の北信越国体はT1、S2、Rの会場を使用し、7月28日~30日に行うことの内定があった。